



第175号

中之条自治会

# 令和三年 後半報告

中之条自治会長 土屋 恵 嗣

年の瀬が迫り何かと忙しい時期となりました。自治会員の皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。

日ごろ自治会活動にご協力いただき有難うございます。さて、後半の活動を報告しながら今年の締めを行い送り事項の整理をしていきます。

先ず、夏にかけてコロナ感染が拡大していく中、昨年延期された東京オリンピックは感染防止対策を行いながら無観客で実施されました。世界中の活動が自粛される状況になりました。

こうした世の状況であるため、地域の活動も感染防止対策をとりながらの活動となり、残念ながら思い通りの活動はできませんでした。九月には感染警戒レベル5になり様々な集まりは中止又は延期を求められた為協議会をリモート会議で行いました。リモート会議の準備をしていた訳ではありませので急遽一週

間位で準備をして実施しました。このリモート会議で住民支え合い支援班の規約が認められ、その後支援班会議の開催が実施できることとなりました。

**一・防災、福祉関係について**  
十月に防災訓練として緊急連絡網の訓練を行いました。緊急連絡網の整備は固定電話より携帯電話中心に各ブロック長のものと各班長が中心にかなり時間をかけて行ってきました。今回その連絡網を使い、実施日、実施時間を事前に連絡したうえで訓練を行いました。「時間的掛かり過ぎ」とか「伝達文が長い」、「電話より隣の家に行った方が早い」など様々な意見が出されてきました。今回は緊急連絡の伝達方法の一つとして自治会員全体が参加して頂いたことは非常に良かったと感じています。有難うございました。今後は出された意見をもとにより良い方法を自治会

員の皆様で検討して頂ければと考えます。

・住民支え合い支援班について  
具体的な活動を開始するに当たり中之条自治会住民支え合い支援班の規約を作成し協議会で承認されました。

この規約は目的として、地域住民が相互に連携を図り災害時のみならず平日頃からの地域における支え合い、助け合いの地域福祉活動の推進に努めることとしました。

事業、構成、役員、任期、職務、会議、情報の保管・管理などのほか住民支え合いマップの更新を年一回行うことも盛り込みました。

「住民支え合いマップの更新」について行政より早期に実施するよう要望されてきましたので、早速、具体的な作業に入る内容の会議を上田市福祉課、市社会福祉協議会担当者との同席を得て十月二十三日行いました。現在は市福祉課へ報告します。

**二・市への要望事項について**  
市への自治会要望については、八月五日に市へ提出しました。いつもより一か月早まった提出期限でしたが、早まったことはその後の市の対応も早まりました。

・土木関係については九月二十九日に土木課と要望事項の現地確認を致しました。来年度の要望事項ですが簡単な修理・補修などについては今年度で対応して頂く様お願いし

ました。

十一月下旬に市から土木関係の回答が届きました。道路の補修事業やカーブミラーの新設の二件中一件、グリーンベルト塗布などは来年度実施することになりました。カーブミラーの補修など既に実施されていた箇所は確認をしました。周辺住民の合意が必要な事項もあり可能な限り自治会として対応し市と協議をしていきます。単年で処理できない事項は、申し送り事項として次年度へ持ち越すこととなります。実現に向けては皆様方の協力が必要と成りますので、ご協力をお願いいたします。

**三・敬老会について**  
今年度は七五歳以上の方が二七六名いらっしゃいました。コロナ禍の状況の中では敬老会開催は無理と判断し中止いたしました。

全員にお祝いの記念品を差し上げました。

**四・防犯灯について**  
今年度は五ブロック二灯と六ブロック一灯の三灯を新設しました。

中之条御所商工振興会より街路灯の移管を受けることになっていきます。しかしながら、国道一四三号線拡幅工事・電線地下化工事が遅れている影響で街路灯の新設四灯が未設置の状況が続いている状況との事でした。当初予定の移行が1年延期しましたが、自治会への移行の日程が具体的に決

まりました。

**五・中之条自治会住宅配置図について**  
住宅配置図は、昨年配布されましたが、新規加入者が多く配置図に追加し訂正・修正を行い配布することとしました。

**六・精穀所取壊に伴う対応について**  
精穀所東側倉庫にありましたわっしょい関連の備品は、農産物集荷所内に移しました。また、精穀所には、軒下がありませんでした。雨が凌げて電気もより大変便利でしたが、建物が無くなったため回収場所を農産物集荷所の軒下に変更しました。しかし、今度の軒下には街灯が無かったので急遽電気を付け利用しやすいうようにしました。跡地は今年中に駐車場として使用できるように整備されます。

**七・念仏堂跡地利用について**  
「区民の交流・ふれあいの場」として今年も花壇を設置しました。

昨年はコロナ禍の中で跡地利用について会議が開催されませんでした。今年度は更地になって三年目になりますのでコロナ禍ではありましたが会議を三回（五月二十九日、七月三十一日、十月十六日）行いました。今後委員会より報告書が出されますので、それを尊重してまいります。

最後になりますが、皆様をご健勝で穏やかな新年を迎えられます様お祈り申し上げます。

# 自治会・農業協議会

## 令和四年度新役員紹介

中之条の自治会長選挙が令和三年十二月五日(日)に行われ、令和四年度の自治会長に第二ブロックの高橋義幸氏が選出されました。

農業協議会長には、十二月十二日(日)第三ブロックの田中良和氏が選出されました。令和四年度の新役員の皆様を紹介いたします。

自治会長 高橋 義幸 (敬称略)

副自治会長 西澤 啓男 (第二ブロック)

会計 山田 晃一 (第三ブロック)

総務部長 腰原 広道 (第六ブロック)

各ブロックから選出されました自治会役員は次の通りです。(敬称略)

- 第1 関 雅美
- 第2 横尾 泰彦
- 第3 湯本 昭夫
- 第4 大竹 勝
- 第5 宮澤 寛子
- 第6 根木 賢治
- 第7 河合健太郎
- 第8 堀 俊彦

### 副ブロック長

- 第1 手塚 孝
- 第2 三ツ井直人
- 第3 佐藤 拓
- 第4 渡辺 剛
- 第5 飯島 浩二
- 第6 中澤 章匡
- 第7 田中 功
- 第8 京田 賢一

### 特別協議員

公民館長 田中 清志 (第二ブロック)

市議会議員 小坂井 二郎 (第二ブロック)

令和四年度の農業協議会役員は次のとおりです。(敬称略)

農業協議会長 田中 良和 (下組)

副会長 高橋 義幸 (新道)

会計 田中 伸介 (柳堂)

新役員の皆様方、大変ご苦労様です。一年間よろしくお願い致します。また、自治会員の皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 上田市議会報告

市議会議員 小坂井 二郎

区民の皆様にかかれましては、元気に新年を迎えられた事と、お喜びを申し上げます。昨年を振り返れば、コロナ対策に尽きると思われます。今、思えば、昨年2月の「ダイヤモンドプリンセス号」内での検疫期間に、もう少しできることはなかったのかと思います。

その後のマスクの使用と品薄からのマスク探しは子を持つ親にとっては大変な事でした。最近はやく落ち着きを見せていますが、企業の経営や飲食業への打撃は取り戻せないままです。上田市ではレベル1の状態が続いていますが油断はできません。コロナ騒ぎの中で、大きな事件がありました。

ワクチン接種の問題です。予防効果が95%というファイザー社製ワクチンの予防接種が始まり、最近では12歳以上の子どもまで対象になってきました。全国的にそうなのですが、ワクチン接種の予約が始

まり、電話とインターネットで受付が始まりましたが、先に始まった70歳以上の部で大混乱が生じました。朝9時から

の電話予約は回線がパンクしていて繋がらず、インターネットがガラケー(ガラパゴス携帯の略で、南米チリ沖のガラパゴス諸島で独自の進化をした生き物になぞらえて、日本ではか通用しない機能を持つ携帯を指す?)を使っている高齢者が予約できないことで苦情が殺到し、大混乱しました。

今年になって、国が「スマホの普及を図るために、民間企業からアイデアを募集しました。自分が所属している(一社)サデイーゴ・障がい者就労支援施設B型で「ポケモンgoを使つての、高齢者・障がい者向けスマホ教室」を提案したところ、採用されて100万円の予算を頂きました。

毎週金曜日、城南公民館で午後2時から開催しています。多少余裕がありますのでお問い合わせください。電源の入れ切りからアプリの取得、長押しやメールの送り方等を、優しく教えています。上田城

趾公園ではポケモンgoで、お孫さんと散歩する高齢者で賑わっていますよ。

市政では、来年の3月に市長選挙・市議会議員選挙が行われます。この記事が出る頃には、「土屋陽一市長の立候補表明」がされていることでしょう。すでにお知らせしているように、自分は今期で引退させていただきますが、ぜひ、区民の中から立候補を

自分でも、区民の皆様の応援で当選できたのですから、大丈夫です。最後に、11年間応援いただいた区民の皆様にごよりお礼を申し上げます。また、和田貢様をはじめ、歴代自治会長会の重鎮の皆様方、後援会長を務めていただきました田中忠男様、事務局長の三井隆夫様にも合わせてお礼を申し上げます。



# 中之条公民館活動報告

公民館長 桑原 秀明

日頃、地域の皆様には公民館活動に対し深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度も新型コロナウイルスの感染拡大により、計画した事業のほとんどを中止せざるを得なくなり、誠に残念でありました。

以下に、下半期の活動状況についてご報告致します。

## 自治会内行事

- ①ふるさと夏祭り8月中止
- ②中之条ぶらぶらウォーキング9月延期後中止
- ③人権同和教育懇談会10月中止
- ④各部活動報告会11月中止
- ⑤ベタンク大会11月中止
- ⑥親子しめ縄教室12月予定

## 五役会議は各月実施

コロナ感染防止のため、密となる室内での催しや、接触や飛沫による感染の危険性の高いお祭りやスポーツ行事は、中止せざるを得ませんでした。そこで、屋外で密を避けて地域の史跡、文化財を散策する「中之条ぶらぶらウォーキング」を9月に計画しました。しかし、第五波により中止することになりました。ご準備を頂いた見学場所の解説者の皆様には、大変申し訳ありませんでした。

## 城南公民館主催行事等

- ①人権同和教育推進委員会

## 8月実施

- ②城南地区運動会10月中止
- ③しいのみ園合同祭10月中止
- ④城南地区文化祭11月中止
- ⑤城南地区子どもわいわい会議11月実施
- ⑥城南地区人権を考える集い12月予定
- ⑦城南地区分館五役員会議12月中止

10月に入ると、全国的に感染者が減少し、現在長野県でも発生者数ゼロの日が続いています。そこで今年度計画した最後の行事である「親子しめ縄教室」を、12月18日実施する予定です。

役員、運営委員の皆様には、感染が続く中、事業実施の検討のため会議にご出席頂きまして有難うございました。

委員会の中で、机等に触れることによる感染を危惧する声があり、自治会長にお願いして備品等の消毒用資材を配置して頂きました。調べてみると、城南公民館をはじめ市の公民館では、利用者が使用後に机等備品を除菌水で拭き掃除することを決めています。当公民館においても、早くからこの様な対応をすべきだったと反省しています。

本年度もコロナ禍のためほとんどの行事が中止となってしまいました。皆様方のご協力に感謝申し上げます。

# 城南公民館より

館長 滝澤 宗雄

日頃、城南公民館の活動に御理解と御協力を賜りまして心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大により、「集う」「学ぶ」、「結ぶ」を大きな役割に掲げている公民館は、大きな影響を受け、一時期、県の施設に準じ貸館の休止を行い、運動会、文化祭など多くの方が集う事業も残念ながら中止とさせていただきました。

中之条自治会の活動、中之条公民館の事業におきましても対応に苦労されたことと思います。

住民同士の交流する機会が持たないとの声をいただいております。

今後公民館活動を進める中でお困りの点等ありましたら城南公民館までお気軽にお問い合わせください。

前例のない状況下ではあります。現在、生涯学習の場を継続的に提供すべく模索をしながら運営をしております。

日常生活に様々な制限がある中ではあります。人と人をつなぐ拠点として、地域の皆様とともに取り組みを進めてまいりますので、よろしくお願いたします。

# 南小学校だより

南小学校校長 山邊 久史

今年度の学校の重点目標のひとつは「あいさつ」です。

進んで気持ちよいあいさつができる子どもたちが育つことを願って活動しています。児童会では、生活委員や6年生のボランティアを中心に毎朝、正門であいさつ運動を行っています。横断歩道の安全指導をしている先生も加わって、登校してくる児童に「おはようございます。」と声をかけています。

先日、地域の方から次のような話が学校に送られてきました。「先日、中之条近辺を歩いていたら、元気にあいさつしてくる小学生がいました。南小の児童さんだと思います。あいさつができない大人が多い中、自分からあいさつができてえらいなあ、素晴らしいなあと思いました。とてもうれしくあなたかな気持ちになりました。」

「学校全体でもあいさつへの意識が高まっています。あいさつは自分から心を開いて相手と関わろうとするコミュニケーションの場となる行為です。」

今年度も、コロナ禍で感染対策等の対応が続いています。あいさつで笑顔があふれる南小をめざして、引き続き取り組むたいと思います。

# 民生児童委員だより

西澤 康彦

「元気かい!」、「風邪を引いていないかい?」とそんな言葉から訪問が始まります。コロナ禍でも、相手の方の表情を見ながらの対話をしています。口を開き、心を開き相手と共に生きることがうれしくなるような言葉のやりとりをしたいと思います。

「家族や周りの人がいろいろの手助けをしてくれるから」と笑顔で思いを伝えてくれる皆さん。その感謝の言葉の奥には、いつも支えられ、助けられている『いのちの実感』の想いが込められています。

「年を取るといけないね」と病気のことが不便なことも話しに出ます。しかし、それだけではなく、悲しかったことや今まで楽しかったことを思い返す言葉も聞かせてもらえます。今まで晴の日もあれば雨の日もある。笑うだけでなく、泣いたり悲しんだりしてもおきなため息を吐き、また前を向き歩けばいいんだよと私自身が教えられています。人生を歩み生きるための大事なものに気づかされます。

「また来るね!」「元気で!」これからも訪問の度に、心を込めての語りかけや励ましをしていきたいと思っております。

### お疲れ様精穀所

精算委員会 西沢 信義

敗戦後、昭和二十一年今の公民館の一角に精穀所が建設された。旧陸軍の通信学校の建物三十二坪を払い下げてもらい使用した。動力機、精米機などの殆どは信州ハムの久保角太郎氏より借り受け、その後寄贈いただいた物を使用した。

食料増産が急務の中、世帯数二百七十戸程度の中之条村であったが、将来の展望に立つての大事業であった。その後建物の老朽化と狭隘のため、昭和二十七年公民館南西にあった宮川神社の齋田に新築された。下之郷山林の売木代金の約半分の七十五万円を出資し建設されたものである。現在政教分離が言われ、お宮や農事などが自治会と分かれて活動しているが、当時は自治会と百姓・氏子は一緒で、それぞれ助け合って活動していたことも忘れないでほしい。昭和四十一年、古舟道路の開通により移転を余儀なくされ東側に移転した。

昭和四十五年から減反政策が行われ、昭和四十年には四千四百俵の糶摺り量があったが、平成二十七年には三百五十三俵になってしまった。平

成十一年頃までは一般会計から積み立てが行われていたが、平成十七年頃から積立金を取り崩すようになった。離農者、後継者不足などが重なり宅地化が進み、昭和五十九年南小学校が開校するのである。さらに住宅が増え平成八年に六百戸、平成十三年に八百戸、令和の今千二百戸になろうとしている。

耕作者が減り、コンバインが普及し利用者も区内で三十人ほどとなり従来の役目を果たした施設となりました。積立金もあり継続できないわけでありませんが組合員総意により、令和二年末を持ちまして営業を終了しました。『六か所農事実行組合共同精穀所』として発足して七十四年間、村の発展に寄与し、ともに歩んだ精穀所組合は建物と共に姿を消していきますが、皆様の脳裏の隅にでも残ればうれしいです。

受け継ぎました財産は総会の決議に沿い自治会へ移管して有意義に活用していただくつもりですが、土地が宮川神社の齋田であった経過を踏まえ、いくばくかを宮川神社へ奉納できないかとの意見があります。組合員の総会に準じる会を開催してご意見をお聞きしたいと考えております。

### 念仏堂跡地検討委員

田中 利明

別所線の赤い鉄橋が落ちて全国ニュースにもなった平成二十九年の台風。この時に念仏堂の屋根も飛ばされました。建物が老朽化していたこともあり修理はせずそのまま解体され、跡地は花壇となっています。

念仏堂に安置されていた十六体の仏像は現在芳泉寺で預かっていただいています。跡地に念仏堂に代わる施設を建設し再び仏像を安置してはどうかという声もあり、様々な案について委員会で検討をおこないました。

案1 仏像を安置・維持するため小規模な堂を建設

案2 歴史的資料の展示ができる文化会館を建設

案3 公園としての状態を今後も維持

建設にかかる費用やその後の維持管理、実現可能性、課題等を子細に検討し、その結果を協議会に答申予定です。そのような中、中之条精穀所が解体されて更地になるなど委員会設立当初とは自治会が置かれた状況も変化してきており、委員会のあり方そのものを見直す必要もありそうです。

現在、中之条ソフトボールクラブの会員数は20名です。活動報告をたくさんしたかったのですが、残念ながら新型コロナウイルス感染症防止の影響で、ナイターリーグを1勝1敗の2試合行っただけで残り全部中止になってしまいました。

### ソフトボールクラブ

石崎 広志

ここ数年、毎回書かせていただいています。4中で開催されるナイターリーグ、日曜日におこなわれる一般男子大会・市民総合体育大会・城南大会などの各種大会に今まで参加してはいますが、平日の夜これない人、日曜日にこれない人でいつも人数がギリギリで大変苦労しています。

是非、おうち時間が増えて運動不足になっている方、ストレッチ解消したい方、一緒にソフトボールをやりたい方、コロナが収束すれば試合の後の慰労会も楽しくできます。自分も含めてそれが楽しみです。やっている人も多いです。

中之条に住んでいる方はもちろん、勤務先が中之条でも入部できますので、ご近所・親戚・会社の知り合いなど心当たりがあればご紹介ください。普通に何でもできる世の中に早くなることを願いつつ活動報告いたします。

三十年前に発足した花と緑の会です。最初は五名の男性のみで盆栽クラブの名称で発足しました。現在は花と緑の会の名称に変更して女性の方も入会しやすいようにしました。そして八名の方に入会していただき現在男性十名で活躍しています。

### 花と緑の会

西澤 和也

樹木の基礎知識について述べたいと思います。水やりは夕方より朝、たっぷりと与える。人間も健康を保持するには、朝起きたら水を飲むことが良いようです。木には表と裏があります。こんにはほとんどの木が表に植えることです。人間もいばつてはいけません。傾けると木には安定感が出ず倒れやすくなります。そして樹木は剪定してこそ見るから美しくなり、日照や風通しもよくなり、病害虫から守れます。樹形を乱す忌み枝(いみえだ)は必ず切ります。徒長枝、立ち枝、逆さ枝、折れ枝(下向き)交差枝、ヒコバエ(ヤゴ)です。

先日テレビで医師がすすめるワークシヨップで花と緑は健康効果抜群であると放送されてきました。機能を向上させ脳全体の活性化が生まれ、活気がでるそうです。美しい高原へ親睦旅行に出掛けたいです。

先日テレビで医師がすすめるワークシヨップで花と緑は健康効果抜群であると放送されてきました。機能を向上させ脳全体の活性化が生まれ、活気がでるそうです。美しい高原へ親睦旅行に出掛けたいです。

先日テレビで医師がすすめるワークシヨップで花と緑は健康効果抜群であると放送されてきました。機能を向上させ脳全体の活性化が生まれ、活気がでるそうです。美しい高原へ親睦旅行に出掛けたいです。

### 囲碁クラブ

中沢 守人

当クラブは毎週土曜日に会員同士の対局を行っています。参加者はいつも5名ほどです。午前10時頃から二人そろったところで打ち始め、適宜相手を変えて、遅い組では時の経過の忘れて午後6時過ぎまで打っています。一局打つのに1時間程度。熱中しているので昼食抜きでも平気です。今年、コロナ禍の中で、2連覇中の東信地区の囲碁大会が昨年に続いて中止になり、当クラブ恒例の囲碁大会（トーナメント戦と懇親会）も開催を控えました。

囲碁に興味がある方は遠慮なく当クラブを覗いてみてください。対局会場は公民館の大広間の隣の部屋です。囲碁の楽しさ、奥深さの一端を見ていただけたらと思います。囲碁を始めたい方には、じっくりと分かりやすく説明させていただきます。ルールは簡単ですのでどなたでも覚えられますし、実際に何局か打ってみれば囲碁の面白さを実感してもらいやすくなります。当クラブでは実力差に合わせてハンディを決めているので有段者との対局も楽しめます。囲碁を始めたい方はクラブ代表の中沢（☎55-9644）まで連絡をお願いします。

### カラオケクラブ

神谷 重子

カラオケクラブ員は、男性二名、女性二名の四名で活動しています。

「今年は、大変悲しい別れがありました」

月二回、第二火曜日と第四火曜日の、午後一時半より三時まで、ヒット演歌を主に、CDを先生にして唄い練習をしております。

皆でほめあつたり、指摘しあつたり、楽しく和気あいあいと唄い楽しんで学んでおります。自治会公民館の参加はコロナの影響でありませんでした。「上田歌謡グループ」に参加しております。

今年、休止になりましたが、やすらぎの湯、鹿沢温泉休暇村、まねきねこなどで、カラオケ大会を楽しんでおります。

現在は公民館で楽しんでおります。早くコロナが収束して、幅広くカラオケを楽しみたいとおもっております。

カラオケクラブは、気軽に参加が出来るクラブと思えます。身軽で何の用意も必要としません。

大勢の方の入部を心よりお待ちしておりますので、よろしくお願い致します。

### 童謡唱歌を愛する会

### も〜いい会

高田 ふき子

今年も昨年からコロナ感染に始まり、又変異株という新しいウイルス感染の中、二年目の生活様式の日々となりました。

も〜いい会には、地域の皆様にご指導頂き感謝しています。

三月には、古見ひろ子先生のご指導の元、今年度始めの練習を開き、楽しいひとときを過ごしました。

練習後は恒例の新年会はできず、家でゆっくり楽しんでもらうよう、お茶菓子を渡しました。

三月、四月、「レベレ4」となり、大正琴様とのボランテニア訪問も中止となりました。月に一度仲間と笑ったり、話をしたり、歌ったりする事が、健康にも繋がっていると思っています。

昨年よりコロナ禍の中、体調を崩したり、足、腰が痛くなった方も出てきました。その中で、一名の入会者がありました。喜ばしく思います。

来年は、皆と楽しく歌える事を願っております。



### 大正琴クラブカトレア

山岸 紀子

今年も去年に引き続いて、新型コロナウイルス感染に気をつけながらの活動となり、ボランテニアの施設訪問も各種発表会の参加もできませんでした。

コロナ禍の生活では様々な行動が制限されて、気分が落ち込んだりすることもありますが、毎月第二第四の水曜日の練習は、仲間の元気な顔を見ながらの楽しい時間でした。その練習さえも八月と九月はコロナ感染拡大でお休みになりました。ようやく十月から練習を再開することができて来年に向けて新しい曲に挑戦しています。

新しい曲を覚えるのは、なかなか大変ですが山岸先生に優しく丁寧に教えて頂き、皆で励まし合いながら少しずつ弾けるようになっていくのは嬉しいものです。

大正琴は、子供から高齢者まで誰でも始めやすい楽器です。音符が分からなくても音楽が苦手でも比較的簡単に曲を演奏できます。そのうえ指や手を使うことは脳の活性化に繋がります。ボケ防止や認知症の予防にもなるそうです。

興味を持った方は、ぜひ一度練習を見学に来て下さい。

### 中之条バックアップクラブ

塚田 吉和

「無色透明なスナイパー」

毎朝日課となったネットを開き、感染者数に一喜一憂する毎日。コロナ禍がここまで人間関係を希薄にする事など想像もしていなかった去年の正月頃。あれからすべての自治会、公民館行事が中止となり、バックアップクラブの存在理由はきれいさっぱり消滅しました。

数日前、以前公民館の役員として一緒に活動してくれた大先輩の女性から久しぶりに電話をもらいました。「塚ちゃん、そろそろ何かやりたいね！」と懐かしい声が電話の向こうから元気に響いてきました。

「ソーシャルディスタンス」という聞きなれない言葉が、人と人との心の距離までも遠ざけてしまい、それを守ることで「何もしないことが簡単でらくちん」と、むしろそんな風潮を歓迎していた自分がいました。

コロナというスナイパー（狙撃手）におびえ、凍結されてしまった地域活動の時間を、早く取り戻したいものです。地域の方々の貴重なふれあいを通してしか作り上げられないものがあります。

「皆さん、そろそろ何かやりたいね！」

# 自治会費納入状況等のお知らせ

中之条自治会 会計 根木 賢治

自治会費等の納入および各種寄付につきましては、多大なるご協力をいただき厚く御礼申し上げます。現在の状況につきまして、下記の通りご報告申し上げます。

自治会費納入状況 (11月22日現在)			
	世帯数	事業所数	金額 (円)
第1ブロック	110	0	894,600
第2ブロック	157	7	1,175,970
第3ブロック	186	9	1,512,115
第4ブロック	78	7	698,200
第5ブロック	174	3	1,394,780
第6ブロック	213	0	1,655,995
第7ブロック	129	4	1,072,952
第8ブロック	180	1	1,393,705
<b>計</b>	<b>1,227</b>	<b>31</b>	<b>9,798,317</b>

中之条文化財保存基金 納入状況 11月22日現在
金額 (円)
自治会員の皆様に任意で、ご寄付を頂きました基金の合計です。
<b>229,000</b>

自治会費については、自治会会計が集金を担当するアパートも含めてあります。アパートによっては、自治会費を日割り計算する場合もあり、端数が生じます。以下の項目につきましては支払い済みを報告いたします。

- ◎日本赤十字社活動資金 43,800円
- ◎社会福祉協議会会費 465,000円
- ◎城下自治連負担金 40,000円
- ◎安協城下支会 270,000円

- ◎共同募金 500,100円
- ◎複十字シール募金 9,000円

今年度はコロナのため、敬老会は開催せず記念品の贈呈のみにさせていただきました。

**おくやみ**

今年一年間、次の方々が、お亡くなりになりました。

**一月** 第三ブロック 宮本 宏子さん  
第六ブロック 根木 光枝さん  
第七ブロック 田中 祐子さん

**二月** 第八ブロック 中沢 憲二さん

**三月** 第五ブロック 須崎 勝さん

**四月** 第五ブロック 田中喜代子さん  
第七ブロック 小林 重雄さん  
第四ブロック 若林 伸榮さん

**五月** 第八ブロック 藤井美那子さん

**七月** 第二ブロック 尾寄つる子さん  
第一ブロック 石坂 信彦さん  
第四ブロック 塚田美恵子さん  
第三ブロック 中曾根文昭さん

**九月** 第二ブロック 布施 広さん  
第二ブロック 佐原紀代子さん

**十月** 第三ブロック 西澤 敏夫さん

**十一月** 第三ブロック 中村 勝則さん  
第五ブロック 中澤 軍平さん  
第六ブロック 永野 裕貞さん  
第三ブロック 田中 信子さん

慎んで冥福をお祈りいたします。(合掌)  
令和三年十二月一日現在

**新年総会について**

令和四年一月九日に中之条公会堂大広間にて予定されていた中之条新年総会は昨年引き続き書面による表決といたします。新型コロナウイルス感染症防止のためご理解をお願いいたします。

**編集後記**

この号で私が担当する千曲藻は終わりとなります。年三回の発行ですが思ったよりも編集作業は忙しく、あつと言う間の一年でした。原稿のご執筆をいただいた皆様には厚く御礼申し上げます。

今年色々な物が終わりを告げた一年だったように思います。公会堂の南側にあった精穀所も解体され更地になりました。ついこの間、精穀所役員を務めさせていただいた身としては複雑な思いです。御所中之条商工振興会は五十年を迎えた今年、解散となりました。個人的には銘菓くのみそばでおなじみ、うさぎやの閉店が一番の衝撃でした。新型コロナウイルスの新規感染者数はだいぶ落ち着いています。このまま終息することを願っています。

編集委員

山岸 弘幸 滝沢 茂  
青沼 正博 酒井 陽  
吉川 利稔 横沢 安弘  
田中 利明